



数か月間熟成させた味噌は、手作業で一つずつパック詰めし、出荷する



麹を通常より多く加え、塩分は控えめにすることで、深みのある味わいが生まれる



宮城県仙台市の沿岸部に位置する岡田地区の農家は、平成3年ごろから、大豆栽培に力を入れ始めました。平成11年には、地区の農家で構成する岡田生産組合(当時・岡田転作組合)の女性メンバー23人が、地場産の大豆と米を使った味噌「岡田産づくり」の生産をスタート。

東日本大震災からの復旧・復興に向けて

文／梶原芳恵 写真提供／J A 仙台

農家のお母さんたちの手作り味噌「岡田産づくり」津波被害を乗り越えて、みごと復活！

生きがいを取り戻すには、働く場が必要だから――

手作り味噌「岡田産づくり」は、仙台市岡田地区の農家のお母さんたちが作る名物加工品です。東日本大震災による津波で、加工施設などが壊滅的な被害を受けたもの、いち早く生産を再開。地域の雇用を守り、復興のシンボルとなっています。

宮城県仙台市／岡田生産組合

添加物を一切使用せず、昔ながらの製法で作る味噌は、独特の甘みがあつておいしいと口コミで評判になり、年10t近くを売り上げるヒット商品となりました。

しかし、平成23年3月、東日本大震災による津波が、岡田地区を襲いました。海岸から約600メートルのところにあつた味噌の加工施設は流され、大豆畑のほか水田もすべて浸水。多くの組合員が被災しました。

一日でも早く加工施設を再建して仕込みを再開したい！

被災から3日後、組合長の遠藤源二郎

がついていったのです。

現在、「岡田産づくり」はJ A 仙台の直売所「たなばたけ」で販売するほか、直接注文も受け付け、全体の3〜4割は、県外へ出荷しています。今後は、加工施設の稼働率を上げ、生産量をさらに増やすのが目標です。

「味噌の生産は、雇用の場や収益を生むだけでなく、組合員の心の支えになっています。仲間と世間話をしながら、いっしょに働くことで、みんなに笑顔が戻ってきました。それが、いちばんうれしいですね」と、遠藤さん。「岡田産づくり」は、地域が復興へ向かい、前に進むための、希望の光となっています。

震災後、岡田地区にはがれきの処理などのために、北海道から九州まで、全国各地からボランティアが訪れました。その際、「岡田産づくり」で作った味噌汁や豚汁をふるまったところ、おいしいと大評判に。故郷に帰ったボランティアの口コミで噂が広がり、全国的に知名度が上

復興支援ボランティアの口コミで知名度が急上昇！

復旧支援ボランティアの口コミで知名度が急上昇！



岡田生産組合のメンバー。40〜70代の女性が中心となっている

- 2 東日本大震災からの復旧・復興に向けて
宮城県仙台市／岡田生産組合
- 4 特集1
農山漁村が元気になる！
再生可能エネルギー
- 12 チャレンジャーズ トップランナーの軌跡
宮城県 松山町酒米研究会
株式会社一ノ蔵
- 14 特集2
食文化研究家・清純の
味わい ふれあい 出会い旅
第7回／大阪府大阪市「船場汁」
- 18 アフ・ラボ
この秋、いよいよデビュー！
リンゴとナシの新品種が続々登場
- 20 MAFF TOPICS
○2015年農林業センサスを実施します
○農林水産省で「福島県産食品の
即売会」と「食べて応援する会」開催
- 23 読者の声／農林水産省とれたてニュース

表紙：高知県梶原町風力発電所 写真提供：梶原町

広報誌「aff(あふ)」について
農林水産省や農山漁村は、食料の安定供給はもちろんのこと、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の発揮を通じ、国民の皆さまの毎日の生活において重要な役割を担っております。また、農林水産省は、生産などの現場に密着したものであると同時に、毎日の生活に深く関わっています。農林水産省では「aff」を通じ、農林水産省における先駆的な取り組みや農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などを紹介しております。

ホームページのご案内

「aff」は、農林水産省のホームページでもご覧いただけます。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/aff/>



■編集・発行 農林水産省大臣官房総務課広報室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL.03-3502-8111 (代表) FAX.03-3502-8766
<http://www.maff.go.jp/>

■編集協力 一般社団法人家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
TEL.03-3266-9045 FAX.03-3266-9046
<http://www.ienohikari.net>

メールマガジンのご案内

大臣メッセージや施策の紹介、イベント情報などをお届けする「農林水産省メールマガジン」を毎週金曜日に発行しております。ぜひご登録ください。無料です。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

フェイスブック・ツイッターのご案内

フェイスブック <https://www.facebook.com/maffjapan>
ツイッター https://twitter.com/MAFF_JAPAN

本誌に掲載した論文などで、意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りします。